

中田万結

伊藤憲孝

惣福将之

加藤和也

クラシカル・サクソフォンの 現在と未来

～広島に縁のある作曲家と若手演奏家の共演～

徳永崇

久留智之

川上統

渡辺俊哉

2026.3.13 FRI. 19:00 START (18:30 OPEN)

@東広島芸術文化ホール くらら サロンホール

プログラム

P. ヒンデミット：演奏会用小品 (1933) 2a.sax

E. デニソフ：ソナタ (1970) a.sax, pf

久留智之：極東のドゥムカ (2024) a.sax, pf

渡辺俊哉：夕霞 (2024/初演) s.sax, pf

徳永 崇：残響工芸Ⅲb (2026/初演) b.sax, pf

川上 統：リカオン (2026/初演) s.sax, b.sax

入場料

一般：前売3,000円 当日3,500円

学生：前売1,500円 当日2,000円

演奏

サクソフォン：加藤和也・惣福将之 ピアノ：伊藤憲孝・中田万結

お問い合わせ

メール：t-tokunaga@hiroshima-u.ac.jp (徳永) 電話：090-9764-1842

主催：広島大学大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域 作曲研究室

チケットのご予約はこちら→



その表現力とパワフルかつ繊細な音色ゆえに、これまで作曲家たちの飽くなき探究の対象となり続けた楽器「サクソフォン」。本公演では、20世紀の古典とも言えるヒンデミットとデニソフの作品を皮切りに、現代の音楽シーンの第一線で活躍し、かつ広島に縁のある作曲家の新作を揃え、その魅力を最大限に引き出します。演奏は、広島を拠点にアグレッシブな活動を展開する加藤和也と、若手ながら近年頭角を現しつつある惣福将之の2人のサクソフォニストに、気鋭の伊藤憲孝と中田万結のピアノが共演する磐石の布陣。サクソフォンの新しい可能性が開かれるまたとない機会を、皆様と共有できたら幸いです。

(企画担当：徳永 崇)

■加藤和也（サクソフォン）

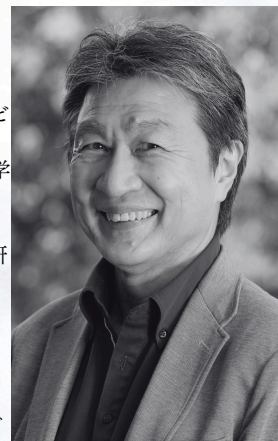
デンマーク政府奨学金を授与され渡欧し、デンマーク王立ユラン音楽院大学院ソリストクラス修了。活動は多岐にわたり、サクスのための新作を委嘱・演奏するほか、作編曲家・黒瀬みどりとのデュオ、ポップスやアルゼンチンタンゴ、ダンサーや曲芸師など他分野のアーティストとのコラボレーション、さらに、無伴奏でのライブと幅広いスタイルで表現を探索している。また、パフォーマンズだけにとどまらず、美術館やギャラリーでの演奏会企画、楽曲制作、音を扱う作品制作にも携わり、2025年には広島駅ビル《minamoa》の始業時音楽やベルの作曲・制作、館内BGMの選曲も担当した。現在、広島市立大学非常勤講師。



© 三田周

■久留智之（作曲）

文化庁舞台芸術創作奨励特別賞（管弦楽部門）、PAS打楽器作品コンクール第1位（アメリカ）、トリエステ市賞第2位（イタリア）など内外で受賞多数。東京芸術大学大学院作曲科修了（修了作品買い上げ）。イタリア政府給費留学生としてミラノ G・ヴェルディ音楽院作曲科及び指揮科にて学び、ローマ・アカデミア・聖チェチリア作曲科修了。広島大学大学院教育学研究科助教授、愛知県立芸術大学教授を経て、現在名古屋音楽大学客員教授、愛知県立芸術大学名誉教授。アンサンブル・アッカ芸術顧問（2022 広島文化賞）。CDに現代日本の作曲家『メリー・バクテリア・ミュージック久留智之作品集』fontec、『オーガニック・モーションズ久留智之ギター作品集』（Guit.大坪純平）Rec-Labなど。



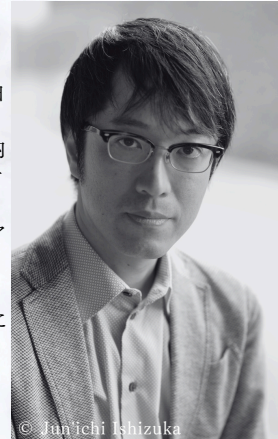
■惣福将之（サクソフォン）

鹿児島県鹿児島市出身。12歳からサクソフォンを始める。須川展也サクソフォン演奏家養成塾1期生。2024年、新進演奏家プロジェクト オーケストラ・シリーズ第76回広島にて、広島交響楽団と共演。第26回さくらびあ新人コンクール1位、さくらびあ大賞受賞。広島プロミシングコンサート2024にて広島交響楽団と共演。第27回万里の長城杯国際音楽コンクール第1位ならびに審査員特別賞受賞。広島大学教育学部音楽文化系コースを卒業し、エリザベト音楽大学大学院に在学中。これまでに、田中靖人、ジェローム・ラランの各氏のマスタークラスを受講。サクソフォンを前田礼子、大石将紀、上田啓二、久保田麻里、平野公崇の各氏に師事。



■渡辺俊哉（作曲）

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学大学院修士課程作曲専攻修了。1999年度武満徹作曲賞第3位入賞（審査員：ルチアーノ・ベリオ）、武生作曲賞2003入選、第24回入野賞佳作（室内楽）、第9回佐治敏三賞受賞（サントリー芸術財団）など。ミュージック・フロム・ジャパン、HIROSHIMA HAPPY NEW EAR や、様々なアンサンブル、個人からの委嘱を受けている。武生国際音楽祭、ロワイヨモン作曲セミナー（フランス）、日加現代音楽交流プロジェクトなどに招待されている。またCDとして、初の作品集『あわいの色彩』（ALCD-122）をリリース、「レコード芸術」特選、「音楽現代」推薦など各誌で高い評価を得た。現在、国立音楽大学・大学院准教授、明治学院大学講師。日本現代音楽協会事務局長。
<http://composerworklist.wixsite.com/composerworklist/toshiya-watanabe>



© Junichi Ishizuka

■伊藤憲孝（ピアノ）

アムステルダム、ベルリンで研鑽を積み、イタリアでの18th Citta di Valentino International Competitionで第1位を受賞。国内主要都市をはじめ、アメリカ、欧州、アジアなど世界各国で演奏を行なっている。ローマのメディチ荘にて「酒井健治ピアノ作品全曲演奏会」を行うなど、その活動はThe New York Timesでも取り上げられている。ブラチスラバにて、スロヴァキア国立歌劇場管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲で共演。録音は、国内でディスク・クラシカより2枚のCDをリリース。欧州では、ベルリンのKreuzberg RecordよりCDが、オランダのDonemusよりデジタルリリースされている。福山平成大学教授、広島大学客員教授、エリザベト音楽大学大学院講師、サンバル・オーケストラ指揮者。



■中田万結（ピアノ）

エリザベト音楽大学演奏学科鍵盤楽器ピアノ専攻卒業。ピアノを本田綾子氏、魚住恵氏に師事。第14回中国ユース音楽コンクール最優秀賞受賞、同記念演奏会出演。第15回日本ピアノ教育連盟ピアノオーディション全国大会出場、同入賞者演奏会出演。第21回ビティナピアノコンペティションC級全国大会出場。第9回石央音楽祭出演。第54回江津市小中学校音楽会にて招待演奏。現在、コンクールやコンサート等でサクソフォンの共演を重ね、伴奏ピアニストとして活躍中。



■徳永 崇（作曲）

1973年広島生まれ。広島大学大学院教育学研究科、東京藝術大学音楽学部別科作曲専修及び、愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。作曲を、早川正昭、久留智之、野田暉行の各氏に師事。ISCM入選（2002/香港、2014/ヴロツワフ）。武生作曲賞受賞（2005）。作曲家グループ「クロノイ・プロトイ」メンバーとして、サントリー芸術財団第9回「佐治敏三賞」受賞（2010）。テグ国際現代音楽祭招待作曲家（2006・2011/韓国）。代表を務めるアンサンブル・アッカが広島文化賞受賞（2022）。現在、広島大学大学院人間社会科学研究科教授。日本現代音楽協会理事。



■川上 統（作曲）

1979年生まれ。東京生まれ、広島在住。東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲専攻卒業、同大学院修了。作曲を湯浅譲二、池辺晋一郎、細川俊夫、久田典子、山本裕之の各氏に師事。2003年、第20回現音新人作曲賞受賞。2009、2012、2015年に武生国際音楽祭招待作曲家として参加。2018年秋吉台の夏現代音楽セミナーにて作曲講師を務める。Tokyo Ensemnable Factory musical adviser Ensemble Contemporary α 作曲メンバー。作曲作品は200曲以上にのぼり、曲名は生物の名が多い。現在、エリザベト音楽大学准教授、国立音楽大学非常勤講師。

